

科 目 名

基礎情報処理演習 I General informatics I

1年 後期 1単位 必修

原野 一誠・吉武 康之
山口 幸輝

概要・目標

調剤は「情報を調剤する」と言われるほど、医薬品は生きた情報を持っている。このような情報をどのように整理し、問題解決に利用するかは、科学技術の発達に依存しながら変化を遂げてきた。コンピュータやネットワークは情報を取り扱う手段として、医薬品の開発段階から医療現場まで、あらゆる段階で、無くてはならぬものとなった。

本実習では、コンピュータの基本的な仕組み、通信およびネットワーク機能を理解し、それをどのように活用するかを実習を通して習得する。また、コンピュータ内部の処理やデータの構成を理解するために簡単なプログラムの作成を行う予定である。

授業計画

実習の具体的内容

- (1) オペレーティングシステム及び基本操作の概要説明
- (2) 化学構造式を描く
- (3) 医薬品情報検索と文書の作成
- (4) 表計算、グラフ作成
- (5) 分子モデリング（蛋白質、DNA の構造等）
- (6) 統合ソフトを用いた HTML (Hyper Text Markup Language) の編集
- (7) テキストエディタによる HTML の作成
- (8) プレゼンテーション資料の作成

授業方法

情報処理室において一人一台のパーソナルコンピュータを用い、課題を与え、自己研鑽、参加型実習を行う。指示は大型スクリーンあるいはネットワークを介して行う。

評価方法

出席状況（遅刻を含む）、課題毎のレポート（メール提出）、基礎知識の試験を行う。

教 材

本実習のための専用ホームページ（医薬品化学研究室）を参考にする。予習、復習のための講義資料などは適宜掲載する。特に、前年度の実習記録を参考にする。

コアカリキュラムとの関連

F 薬学準備教育ガイドライン(7) IT を含む。対応の詳細については薬学部ホームページに掲載。本学独自の教育：Mac OS および Windows OS の利用形態

履修上の注意

本実習は一連の情報処理教育の基礎にあたるものである。化学、薬学領域におけるコンピュータを利用した問題解決の事例については2年次の情報処理実習や各専門教育において紹介する。

他の講義との関連

本科目 → 基礎情報処理演習Ⅱ（2年前期）→ UNIX 入門（5年）